

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2401 号

Validation study of the Forgotten Joint Score-12 as a universal patient-reported outcome measure

(国際的な患者立脚型評価としての Forgotten Joint Score - 12 の有用性の検討)

松本 幹生 (まつもと みきお)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、人工関節術における究極のゴールは人工関節を意識しない事であるとの考えから作成された人工関節術後の患者立脚型評価である Forgotten joint score-12 の有用性について述べた論文である。

まず最初に、back translation 法に準じて日本語版 Forgotten Joint Score-12 を作成した。次にこの日本語版 Forgotten Joint Score-12 の妥当性、信頼性を評価した。FJS-12 の internal consistency を示す Cronbach の  $\alpha$  係数は FJS-12=0.97 と非常に高いものであり、非常に信頼性の高い評価法であることがわかった。

また、国際的な下肢の評価ツールである WOMAC (Western Ontario and McMaster Universities Osteoarthritis Index) と、日本人の生活様式に合わせた評価法である JHEQ (Japanese Orthopaedic Association Hip-Disease Evaluation Questionnaire) との合計点、下位尺度について、同一患者で比較を行い、日本語版 Forgotten Joint Score-12 はその両方に中等度以上の相関を認め、少なくとも両者と比べて同等の信頼がおける評価法であると考えられた。つまり、Forgotten Joint Score-12 は人種や生活様式に関わらず有用な評価法であることを示した。また、FJS-12、JHEQ は、WOMAC と比較して、低い天井効果であることが特徴であることを示した。

これらは本邦で初めての報告であり、今後に繋がる論文であると判断する。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。